

試合番号 : 166		試合会場 : 駒沢オリンピック公園総合運動場体育館				観客数 : 850			
開始時間 : 14:00		終了時間 : 15:59		試合時間 : 01:59		主審 : 戸川 太輔			
副審 : 服部 篤史		FC東京		通算		4勝 10敗 ポイント : 15			
監督コメント	今日は、各セットの出だしが悪く、常にビハインドの状態でも苦しい展開が続きました。その中でも状況を打開しようと努めました。力が及びませんでした。上位の堺ブレイザーズに対して各選手が力を発揮してくれたと思います。次週の天皇杯に向けてしっかりと準備をしていきます。2日間ホームゲームの開催にご尽力いただいた皆様へ感謝いたします。本日も応援ありがとうございます。	1	23	第1セット	25	3	堺ブレイザーズ	通算	11勝 3敗 ポイント : 32
			15	第2セット	25				
			26	第3セット	24				
			19	第4セット	25				
				第5セット					
監督コメント	昨日の敗戦後、修正点を洗い出しチーム一丸となって取り返すことが出来ました。どんな試合でも楽な展開はありませんが、一つ一つ接戦を勝っていくことが大切だと思います。今日は私の誕生日で、選手達に最高のプレゼントをもらうことが出来ました。これで年内のリーグ戦は最後ですが、年明けからまたしっかりと戦えるよう準備していきます。今日の応援ありがとうございます。								
要約レポート	昨日ホームゲームを勝利で飾れたFC東京に対し、単独首位を明け渡してしまっ堺ブレイザーズの試合2日目。第1セット、序盤は競り合う試合だったが、中盤にかけ堺・樋口やバーノンの活躍によりリードを奪う。それに対しFC東京はクヴァーレン、長友で反撃するが、あと一歩及ばずこのセットを堺が手に入れた。第2セット、リズムを掴んだ堺はスタートダッシュに成功し、リードを広げた。FC東京はセッターを山田(要)に代え流れを変えようとしたが、最後はリードを守りきったまま堺バーノンのアタックが決まりこのセットを手に入れた。第3セット、後のないFC東京は武藤、黒田を起用し、序盤リードを奪った。しかし、堺・高野、バーノンの活躍により中盤FC東京を捉え、逆転に成功する。ところが終盤FC東京も追いつくことに成功し、最後はクヴァーレンのアタックが決まりこのセットを手に入れた。第4セット、両チーム譲らず序盤を終えたが、中盤に入り堺バーノンのサーブでFC東京を崩し得点を重ねる。その後も主導権を握ったまま、最後はFC東京のミス誘い堺が勝利を手に入れた。								
試合番号 : 167		試合会場 : 三島市民体育館				観客数 : 620			
開始時間 : 12:00		終了時間 : 14:00		試合時間 : 02:00		主審 : 澤 達大			
副審 : 村中 伸		東レアローズ		通算		11勝 3敗 ポイント : 35			
監督コメント	2日間、三島ホームゲームに来ていただいた皆さん、本当にありがとうございます。昨日に引き続き、今日も非常にタフな試合となりました。2日間共に、ホームゲームの皆さんの応援が勝利を引き寄せてくれたと思っています。年内のリーグはここで終わりますが、来年に向けて、さらに進化したアローズを見せられるよう準備していきたいと思っています。本日もたくさんの応援ありがとうございます。	3	25	第1セット	22	1	パナソニックパンサーズ	通算	8勝 6敗 ポイント : 25
			25	第2セット	22				
			23	第3セット	25				
			25	第4セット	23				
				第5セット					
監督コメント	昨日と同じく、接戦の試合でしたが残念ながら負けてしまいました。2点差のセットが多く、取り切れなかったのは残念ですが、最後まで諦めずに戦ったことは誇りに思います。								
要約レポート	5連勝と勢いのある東レアローズと、連敗は避けたいパナソニックパンサーズの戦い。第1セット、序盤は両チームのサービスエースが決まり、一進一退の展開が続く。パナソニック大竹と山内、東レ李のスパイクで互いに譲らず、2回目のテクニカルタイムアウトまで1点差が続く。東レは終盤に相手のミスから点差を広げ、最後はバダルがスパイクを決めて、セットを先取した。第2セット、両チームの好レシーブやアタックで互いに譲らない展開になる。終盤、東レが米山・高橋のブロックで点差を広げ、対するパナソニックも深津のサービスエースで追い上げる。長いラリーの応酬で白熱したが、最後は東レのバダルがサービスエースを決め、25-22でセットを連取する。第3セット、終盤、大竹のブロックで流れを掴んだパナソニックがリードを奪う。パナソニックは深津のツースパイクでセットポイントを奪い、最後は大竹が確実に決め、25-23でセットを取り返した。第4セット前半からパナソニックは大竹が気を吐いて得点を重ね、東レは高橋がブロックを決め、互角の戦いを見せる。終盤、東レは鈴木がサーブでパナソニックの守備を崩し、3連続得点を決め、東レが熱戦を制し、6連勝を飾った。								
試合番号 : 168		試合会場 : カミアリーナ (島根県立浜山体育館)				観客数 : 1,050			
開始時間 : 13:00		終了時間 : 14:25		試合時間 : 01:25		主審 : 國頭 亮太			
副審 : 弘中 秀治		JTサンダース広島		通算		7勝 7敗 ポイント : 22			
監督コメント	今のチームの課題であるスタートをまだ修正しきれていないため、もたついた内容になってしまいました。まずは、サーブレシーブに集中し、攻撃バリエーションを広げて戦っていききたいと思います。今日もたくさんの応援ありがとうございます。	3	25	第1セット	16	0	VC長野トライデンツ	通算	0勝 14敗 ポイント : 0
			25	第2セット	18				
			25	第3セット	21				
				第4セット					
				第5セット					
監督コメント	このコロナ禍の中、大会の開催にご協力いただいているすべての関係者の皆様へ厚く御礼申し上げます。チーム全体で昨日の試合の課題を確認し、本日の試合に挑みました。対策の効果が出て、流れを掴むシーンが多くなりましたが、ミスや連続失点で流れを失い、セットを取りきることができませんでした。次のリーグ戦は年明けになるので、ここまでの試合で出した課題を改善し、次の試合に挑みたいと思います。本日も応援ありがとうございます。また年明けも応援よろしくお願します。								
要約レポート	ホームで白星を増やしたいJTサンダース広島と勝って勢いをつけたいVC長野トライデンツの戦い。第1セット、序盤はお互いに一進一退の立ち上がりを見せる。JT広島は粘りのレシーブを起点としてエドガーのスパイクで得点を重ねる。VC長野は、池田(颯)、池田(幸)、笠利のスパイクで追い上げを見せるが、最後は途中交代で入った熊倉のスパイクでJT広島がセットを先取した。第2セット、VC長野が池田(颯)のバックアタック、笠利のサーブで相手を乱し、先行する。対するJT広島は小野寺の速攻で連続得点すると、金子のサーブで相手を翻弄し、中盤に逆転する。終盤、西、エドガーのブロックで連続得点し、そのままの勢いでセットを連取した。第3セット、序盤からJT広島は坂下の巧みな攻撃で流れを掴む。VC長野は、中村(竜)の速攻、池田(颯)のスパイクで追い上げを見せるが、終盤JT広島は、エドガーの勢いが止まらず、リードする展開のままこのセットを取り、JT広島が勝利した。								
試合番号 : 169		試合会場 : アミノバリューホール (徳島県鳴門総合運動公園体育館)				観客数 : 750			
開始時間 : 13:00		終了時間 : 15:27		試合時間 : 02:27		主審 : 原 敬之			
副審 : 中山 健		ジェイテクトSTINGS		通算		8勝 6敗 ポイント : 24			
監督コメント	残念な結果となりましたが、一人一人の選手のパフォーマンスには満足しています。いつも応援ありがとうございます。引き続き、よろしくお願します。	2	25	第1セット	22	3	ウルフドックス名古屋	通算	9勝 5敗 ポイント : 25
			25	第2セット	17				
			21	第3セット	25				
			20	第4セット	25				
			9	第5セット	15				
監督コメント	試合を通じてチーム一丸となって全力を出し切ることが出来ました。ベンチから入った選手が、素晴らしい活躍をして、試合の流れを変えることに大きく貢献してくれました。また、相手チームも今までと違うメンバーで闘ったことに対して敬意を表したいと思います。来年のリーグ戦においてもチーム全員で闘い、一人一人成長できるように頑張りますので、我々ウルフドックス名古屋の引き続きの後押しをのほどよろしくお願します。Unite as One!								
要約レポート	第1セット、序盤は一進一退の攻防が続く。ジェイテクトSTINGSは、中盤に陳のブロック、宮浦のサービスエースなどで一気にウルフドックス名古屋を突き放し、フェリペ、都築も要所でスパイクを決め、セットを先取した。第2セット、競り合った展開から、ジェイテクトが福山のブロック、フェリペのスパイクで流れを掴む。WD名古屋もクレクや山崎のスパイクで追い上げを見せたが、ジェイテクトは宮浦が連続でスパイクを決め、セットを連取した。第3セットは、終盤までサイドアウトの応酬となったが、WD名古屋はクレク、傳田のスパイクで一歩抜け出す。ジェイテクトも宮浦、都築のスパイクで応戦したが、WD名古屋の勢いは止まらず、セットを奪い返した。第4セット、両者一歩も譲らず中盤まで進むが、WD名古屋は、クレクのブロック、山崎のスパイクでリードを広げる。ジェイテクトも粘りを見せたが、最後はクレクがスパイクを決め、勝負は最終セットへ持ち込まれる。第5セット、WD名古屋は、クレクや高梨の勢いが止まらない。ジェイテクトも宮浦や都築のスパイクで流れを掴みかけたが、WD名古屋が主導権を譲らず、フルセットの接戦を制した。								

試合番号 : 170		試合会場 : 熊本県立総合体育館				観客数 : 1,850				
開始時間 : 13:00		終了時間 : 15:03		試合時間 : 02:03		主審 : 山本 晋五		副審 : 木内 誠二		
サントリーサンパース		通算	10 勝	4 敗	21	第1セット	25	大分三好ヴァイセアドラー		
			ポイント :	26	25	第2セット	17	通算	2 勝 12 敗	
監督コメント	<p>本日もサンパースにご声援ありがとうございました。年内最後のリーグ戦を2連勝できたのは、本当に良かったです。大分三好の強烈なサーブに今日も苦しめられましたが、途中からコートに入ったリベロの高橋が、献身的なプレーと声で流れをサンパースに引き戻してくれたと思います。この2戦を通じて勉強になったこと、今の自分たちのレベルを知ることができ、1つずつ克服し、さらにはチーム力を向上させ、年明けからまた連勝したサンパースをお見せできると、積み上げていきます。熊本ホームゲームの開催にあたり、ご準備いただいた皆様ありがとうございました。引き続きサンパースは"PLAY HARD"していきます！</p>				3	25	第3セット	23	監督コメント	<p>2日間、応援ありがとうございました。また関係者の皆様にも、とても感謝しています。1セット目はエメルソンのサーブが走ったが、2セット目以降相手の効果的なサーブに押されて、自分たちの展開に持ち込めませんでした。年明けのホームゲームに向けて、チームの士気をもう1段階上げて頑張っていきたいと思います。今後とも大分三好ヴァイセアドラーの応援よろしくをお願いします。</p>
					25	第4セット	14			
					25	第5セット				
<p>要約レポート</p> <p>サントリーサンパースは大声援を受け、ホームゲームで2連勝をあげた。第1セットの序盤はリズムに乗ることができなかった大分三好ヴァイセアドラーだったが、エメルソンの3連続サービスエースを含む5連続得点で18-14と逆転し、セットを先取した。第2セット、サントリーのセッター大宅は、センター彭の速い攻撃を効果的に使った巧みなトスワークで大分三好を翻弄して終始リードを保ち、地元熊本出身の西田が2連続サービスエースでセットを奪い返した。第3セット、大分三好はバグナスの2連続ブロックなどで連続し14-10とリードした。しかし、サントリーはキャプテン大宅のブロックで19-18と逆転し、連続してセットを取った。第4セット、サントリーの勢いを止めようと大分三好はセッターを藤岡に代えてリズムを立て直そうとしたが、サントリーは7本のブロックで大分三好の攻撃を封じ勝利をつかみ、年内のリーグ戦の成績を10勝4敗とした。</p>										

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :				
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :		
		通算	- 勝	- 敗		第1セット		通算	- 勝	- 敗
			ポイント :	-		第2セット			ポイント :	-
監督コメント						第3セット		監督コメント		
						第4セット				
						第5セット				
要約レポート										

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :				
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :		
		通算	- 勝	- 敗		第1セット		通算	- 勝	- 敗
			ポイント :	-		第2セット			ポイント :	-
監督コメント						第3セット		監督コメント		
						第4セット				
						第5セット				
要約レポート										

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :				
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :		
		通算	- 勝	- 敗		第1セット		通算	- 勝	- 敗
			ポイント :	-		第2セット			ポイント :	-
監督コメント						第3セット		監督コメント		
						第4セット				
						第5セット				
要約レポート										